

7 書誌データの活用

論文を執筆する際に、参考文献の活用や引用は重要です

でも、執筆中に原本の記載箇所を確認するのは大変にめんどうです

それに、引用する文献の書誌情報を調べたり記録したりも、やりたくない作業です

執筆に集中したいですね・・・、そこで！

(ただし、こうしたことはおそらくEndnoteなどのソフトでも十分できます)

論文を書きながら文献カードを参照する

外部との接触からなる流用

太田 (1998) ODK 5205 PK>

obs. 文化を用いた体系と看之。文化の原初的状況は外部からの影響によって変化するものと看之。考之方におし。

同じ文化の変容を外部との接触によって起る流用 (appropriation) で文化が創造して見らんと見らざる。

20040113

執筆中に引用したいところに来たら、読書カードを検索して、引用可能な文献を探し、そこから書き込む

このように、使用する地域資源が同じでも、南部鉄器のように、新たな消費者の要望や感覚を反映して、設計情報や文化が変化することがある。また、新たな資源との「出会い」によって、資源と設計情報および文化間の「擦り合わせ」が起き、設計情報自体や文化も変容する可能性もある。こうした「変容」を批判することもできるが、太田(2001)はそれを外部との接触で起きる「流用」であり、新たな「文化の創造」だと主張している。つまり、パターン2の地産地消型と異なり、設計情報や文化を維持したままの生産を続けるのではなく、文化が再編集される。逆にパターン2との共通点は、商品が伴う文化を理解した特定の人々など、限定した利用者を意識して商品化することである。□

ところで、南部鉄器の原料の鉄が輸入に頼らざるを得ないことと同様、商品化のための資源を全て地域内で調達できないことは多い。またICT(Information and Communication Technology)の時代なので、設計情報自体の考案を地域外に依存せざるを得ないことも考えられる。しかし、構築する主導権があれば、原料を外部依存してもコントロールは可能であり、パターン3のように、資源も設計情報も地

書誌データを論文執筆に活用する

- ワードや一太郎で執筆中に使いたい(引用したい)文献があれば、下記のように文中に引用します
- その際に、「注釈(一太郎の場合)」と言う印刷されない情報を埋め込む機能を使って、文献情報を書き込んでおきます

これが引用する場所

注釈で情報埋め込み

埋め込んである文献情報

この状況に対して、1980年代から地域活性化としての地域づくりが進められてきた。しかし、過疎化などが原因で衰退した地域社会の再生は難しく、地域外からの資本導入や国からの補助金に依存することが多かった。後藤(2010)が指

農業生産額の50%に相当する財政

ところが、2008年のリーマンシ

外部から地域を支援しても十分維持

いる状況では、都市と地方の人口

ローバリゼーションが進行した状況

そのため、地域の構造的再生を目

; 1999など)も主張されてきた。特

民が制度的に主体となる「地域づく

りづくりの動きは、1990年代から注

りづくりに関する図書の出版が1990

近では、地域を「再デザイン」する

案されている。□

以上のような地域づくりでは、地域にもとめてある資源に着目した地域再生が目指されているこ

注釈

機能

「注釈」とは、文中の語句に説明やメモをつける機能です。

注釈文章(E)

<8845>後藤和子(2010)『農村地域の持続可能な発展とクリエイティブ産業』『農村計画学会誌』編.(29)1, pp.21-28 / 総ページ数: ●●●●(デジタル化あり)

注釈者名(A) 敷田麻実

日付: 2015/01/28

時刻: 14:58:56

一覧(L)... << 前注釈文章(P) 次注釈文章 (N) >>

変更(M) キャンセル ヘルプ(H)

注釈削除(D)...

日本語ワードプロセッサ
一太郎

埋め込んである情報を取り出す

埋め込まれた文献情報リスト

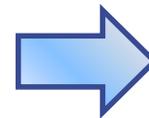
マクロで抽出します

注釈一覧

位置	注釈
2頁 20行	<9385>小田切徳美 (2013)「農山村再生の...
2頁 21行	<8539>山崎亮 (2011)「『コミュニティデザイ...
2頁 24行	<8845>後藤和子 (2010)「農村地域の持続...
2頁 26行	<10386>四本幸夫 (2014)「観光まちづくり研...
2頁 39行	<9020>杉本淳・矢崎栄司 (2012)「『田舎...
2頁 40行	<9466>小磯修二 (2013)「『地方が輝いた...
2頁 41行	<8719>池上甲一以下34名 (2007)「『むら...
3頁 5行	<7523>佐藤仁 (2008)「今、なぜ「資源分配...
3頁 6行	<8611>佐藤仁 (2007)「資源と民主主義 ...

ジャンプ
閉じる
ヘルプ(H)

<8845>後藤和子 (2010)「農村地域の持続可能な発展とクリエイティブ産業」『農村計画学会誌』編... (29)1, pp.21-28 / 総ページ数p.●●●●【デジタル化あり】



マクロ実行・編集

システムマクロ | 文書マクロ

一覧(L) 現在31件登録されています。 M

形式...	名前	見出し
	注釈抽出	★注釈の先...
	JUST_PDF_2[作成]の起動...	JUST PDF 2...
	現在の文書をPDF形式に変...	編集中の文...
	設定(JUST_PDF2)	設定ダイア...

新規(A)... 削除(D)

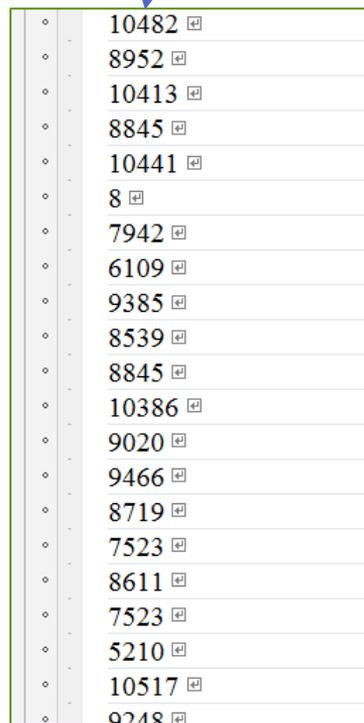
見出し(M) ★注釈の先頭にある括弧内の文字列を文...

実行(E)
編集(E)...
デバッグ(B)
終了
キャンセル
ヘルプ(H)

- 論文が執筆できたら、埋め込みデータを一気に抽出します

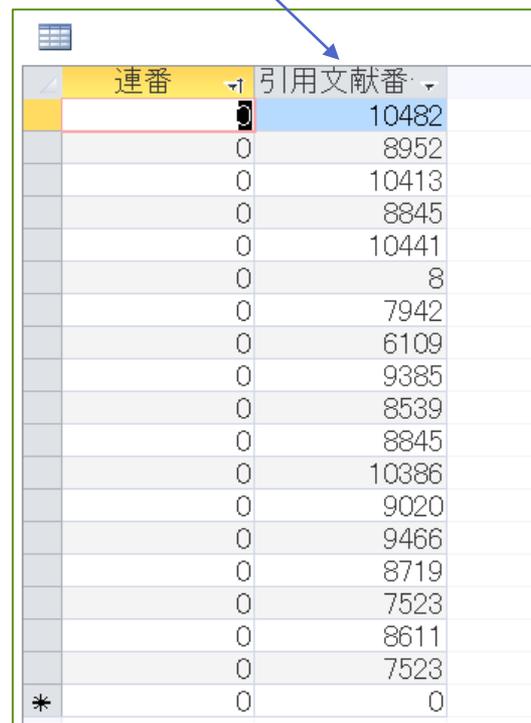
できあがった文献番号のリスト

ワードなどで抽出した文献番号



10482
8952
10413
8845
10441
8
7942
6109
9385
8539
8845
10386
9020
9466
8719
7523
8611
7523
5210
10517
9248

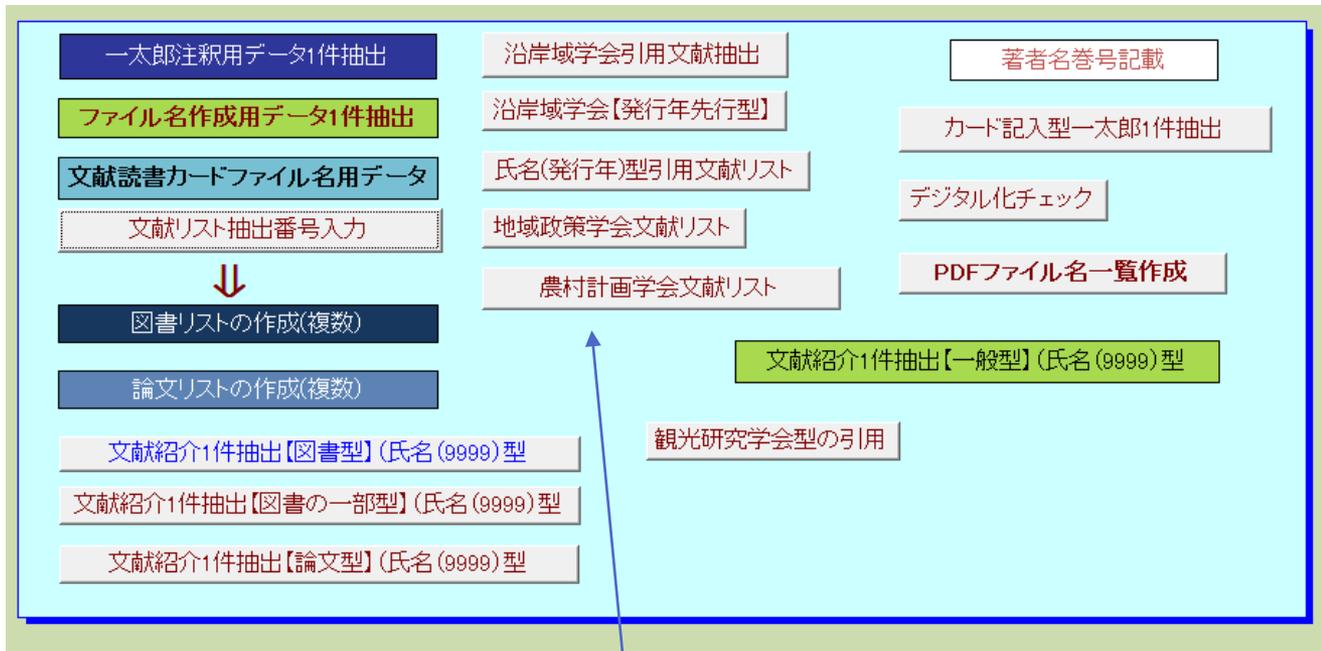
文献データベースにコピー



連番	引用文献番
	10482
0	8952
0	10413
0	8845
0	10441
0	8
0	7942
0	6109
0	9385
0	8539
0	8845
0	10386
0	9020
0	9466
0	8719
0	7523
0	8611
0	7523
*	0

- マクロで抽出した文献の番号をデータベースソフトに移します
- その番号からデータベースソフトが文献リストを指定様式つくってくれます

文献リストの抽出作成



- あらかじめ、学会などの指定の様式従ったスタイルの様式を用意しています

リストのできあがり

沿岸域学会引用文献リストその2											
連番	Carc	著者名(Author)	発行	年	標題(Title)	種	書名	編集者	式	出版地	出版者(社)
0	10482	矢作弘	(2014)	『	J,『	縮小都市の挑戦	編,		東京都	岩波書店
0	8952	矢作弘	(2009)	『	J,『	「都市縮小」の時代	編,		東京都	角川書店
0	10413	増田寛也	(2014)	『	J,『	地方消滅	編,		東京都	中央公論新社
0	8845	後藤和子	(2010)	『	J,『	農村地域の持続可能な発展とクリエイティブ産業	編,			
0	10441	八代尚宏	(2014)	『	J,『	反グローバリズムの克服 世界の経済政策に学ぶ	編,		東京都	新潮社
0	8	鶴見和子	(1989)	『	J,『	内発的発展論の系譜	編,	鶴見和子・川田侃	東京都	東京大学出版会
0	7942	鶴見和子	(1999)	『	J,『	環の巻－内発的発展論によるパラダイム転機	編,		東京都	藤原書店
0	6109	佐藤滋以下27名	(1999)	『	J,『	まちづくりの科学	編,	佐藤滋	東京都	鹿島出版会
0	9385	小田切徳美	(2013)	『	J,『	農山村再生の戦略と政策－総括と展望	編,	小田切徳美	東京都	岩波書店
0	8539	山崎亮	(2011)	『	J,『	コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる	編,		京都市	学芸出版社
0	8845	後藤和子	(2010)	『	J,『	農村地域の持続可能な発展とクリエイティブ産業	編,			
0	10386	四本幸夫	(2014)	『	J,『	観光まちづくり研究に対する権力概念を中心とした社会的批判	編,			
0	9020	杉本淳・矢崎栄司	(2012)	『	J,『	田舎の宝を掘り起こせ 農村起業成功の10か条	編,	曾根原久司・えがおつなげ	京都市	学芸出版社
0	9466	小磯修二	(2013)	『	J,『	地方が輝くために 創造と革新に向けての地域戦略15章	編,		札幌市	柏艸舎
0	8719	池上甲一以下34名	(2007)	『	J,『	むらの資源を研究する－フィールドからの発想	編,	日本村落研究学会	東京都	農山漁村文化協会
0	7523	佐藤仁	(2008)	『	J,『	今、なぜ「資源分配」か	編,	佐藤仁	東京都	東信堂

- リストができたので、後はそれをエクセル経由で、ワードや一太郎に移します

完成したリスト

藤本隆宏(2003)『能力構築競争－日本の自動車産業はなぜ強いのか』,中央公論新社.

藤本隆宏ほか(2009)『日本型プロセス産業 ものづくり経営学による競争力分析』,藤本隆宏・桑嶋健一編,有斐閣.

後藤和子(2010)「農村地域の持続可能な発展とクリエイティブ産業」,『農村計画学会誌』,(29)1, pp. 21-28.

原良憲・岡宏樹(2014)「日本型クリエイティブ・サービスの価値共創モデル:暗黙的情報活用に基づく価値共創モデルの発展的整理(<特集>サービスイノベーションの新展開)」,『研究技術計画』,28(3), pp. 254-261.

Hatch, M. (2014) 『Makerムーブメント宣言 草の根からイノベーションを生む9つのルール』,オライリー・ジャパン.

広井良典(2006)『持続可能な福祉社会－「もうひとつの日本」の構想』,筑摩書房.

Hofstede, G.(2003) *Cultures and Organizations*, Profile Business.

池上甲一ほか(2007)『むらの資源を研究する－フィールドからの発想』,日本村落研究学会編,農山漁村文化協会.

今村仁司(2007)「資源の概念」,『資源と人間』,内堀基光編,弘文堂, pp. 357-371.

石井淳藏(2009)『ビジネス・インサイト』,岩波書店.

伊丹敬之・宮永博(2014)『技術を武器にする経営 日本企業に必要なMOTとは何か』,日本経済新聞出版社.

神野直彦(2002)『地球再生の経済学』,中央公論新社.

金子勝(2015)『資本主義の克服「共有論」で社会を変える』,集英社.

木俣美樹男・井村礼恵・大崎久美子・川上香・和田綾子(2010)「生物文化多様性と農山村振興－在来品種と伝統的知識体系」,『国際農林業協力』,33(2), pp. 27-32.

鬼頭秀一(1996)『自然保護を問い直す:環境倫理とネットワーク』,筑摩書房.

北島俊朗(2002)「コウモリを食べる習俗－金沢・山間部の犀川・内川・富樫地区の場合」,『加能民俗』,145, pp.1-5.

小林潔司ほか(2014)『日本型クリエイティブ・サービスの時代「おもてなし」への科学的接近』,小林潔司・原良憲・山内裕編,日本評論社.